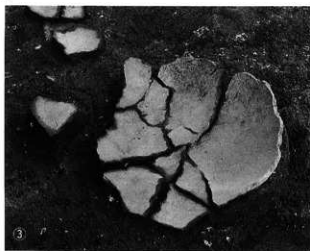


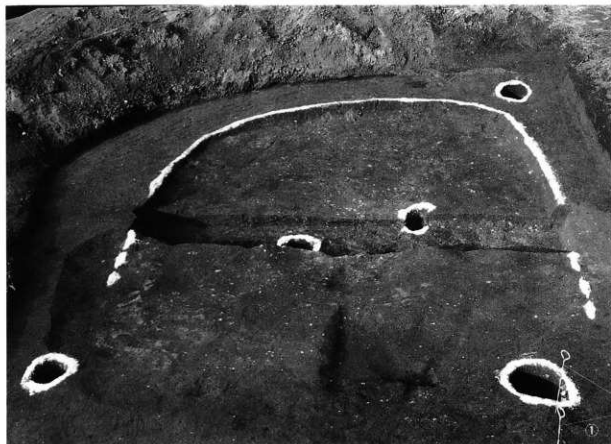
① 整穴住居跡 2号 ② 同 2号遺物出土状況



竖穴住居跡 2号遺物出土状況



① 竖穴住居跡 3号
② 同 4号鉄器出土状況
③ 同 3号遺物出土状況



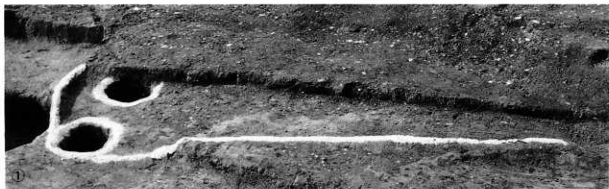
① 竖穴住居跡 4 号 ② 同 4 号断面



① 竖穴住居跡 5号 ② 同 5号遺物出土状況 (土坑内)



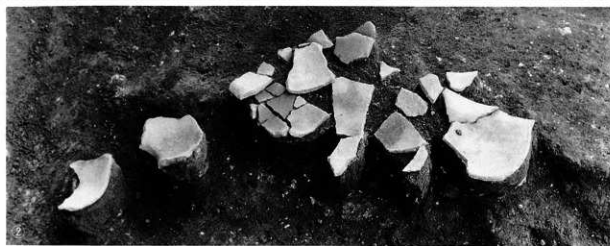
① 竖穴住居跡 6 号 ② 同 6 号 断面 ③ 同 6 号 遺物 出土 状況 (土坑内)



①竖穴住居跡7号 ②竖穴住居跡8号 ③同8号断面



① 竪穴住居跡 9号 ② 同 9号 (奥) と 10号 (手前)



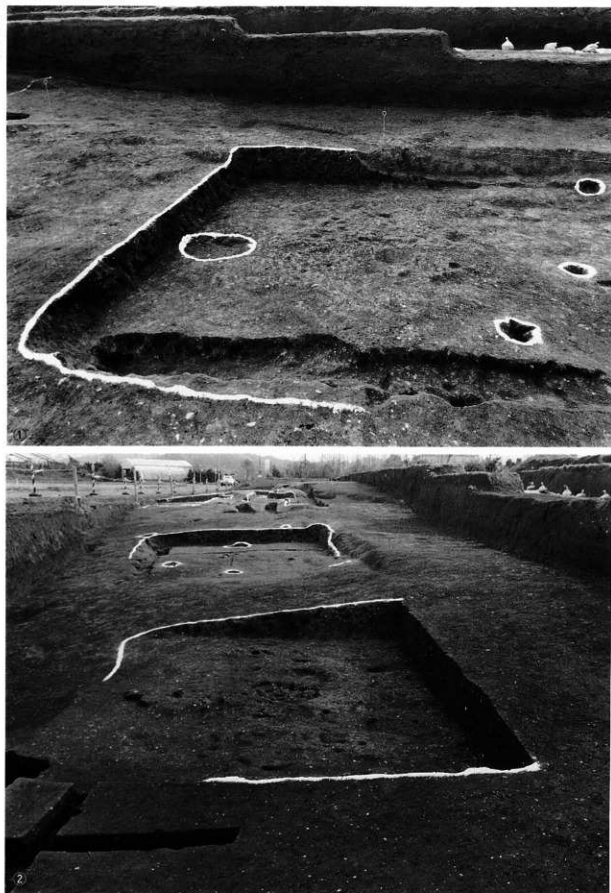
① 竖穴住居跡10号

② 同10号遺物出土状況（甕）

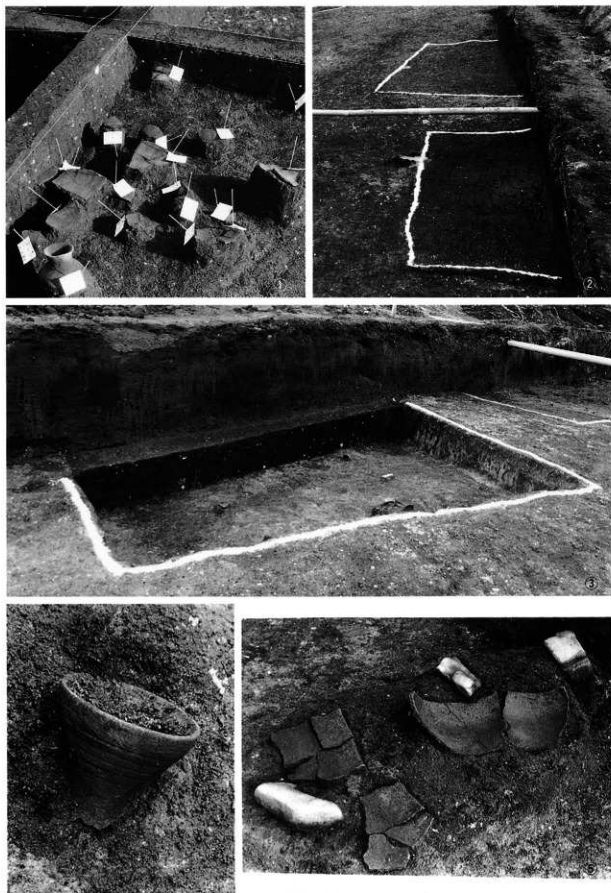
③ 同10号遺物出土状況



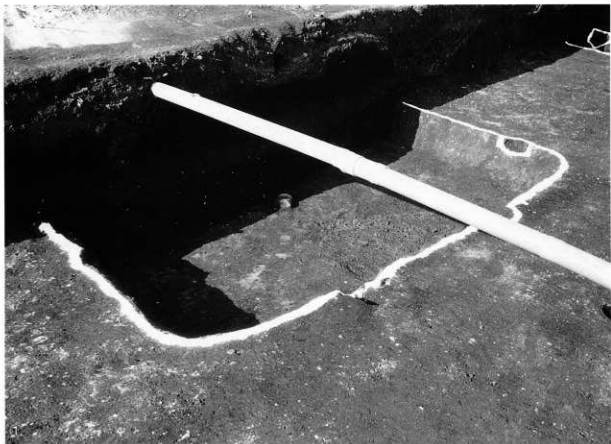
① 竪穴住居跡13号 ② 竪穴住居跡9号 (左奥)・11号 (右)・10号 (左前)



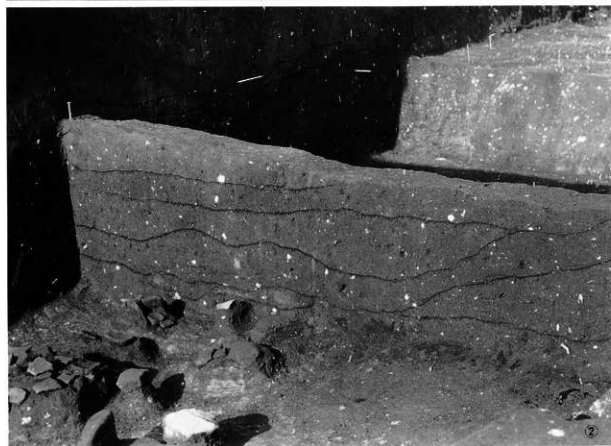
①竖穴住居跡13号 ②竖穴住居跡14号(手前)



① 幻の15号遺物出土状況 ② 竪穴住居跡16号（奥）・17号（手前） ③ 同16号
 ④ 同16号須恵器出土状況 ⑤ 同16号遺物出土状況



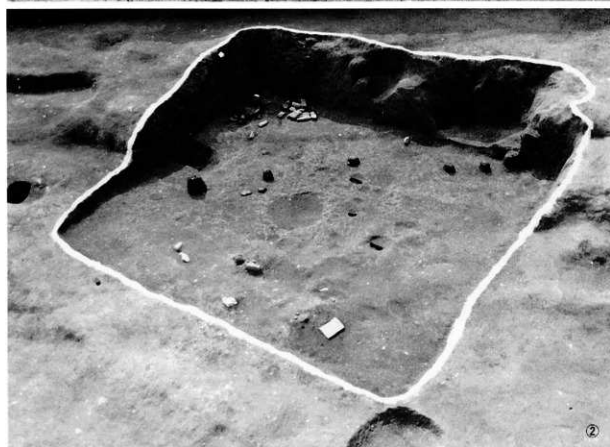
①竖穴住居跡17号 ②同17号遺物出土状況



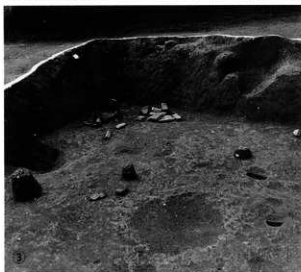
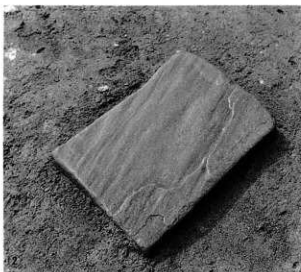
①豎穴住居跡17号炭化物出土状況 ②同17号土层断面



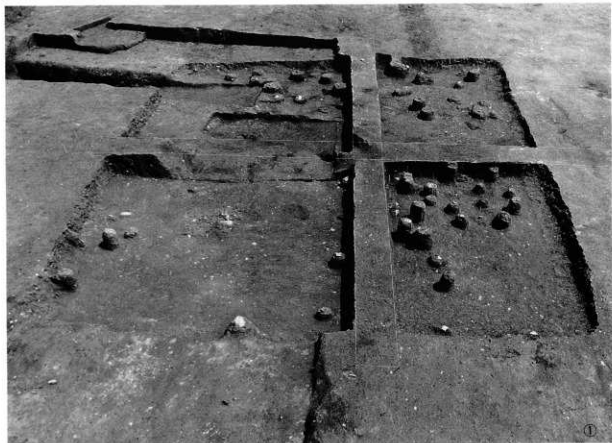
竖穴住居跡18号と溝状遺構4号



① 竪穴住居跡18号（南から） ② 同18号（北から）



①·② 豎穴住居跡18号遺物出土状況 ③·④ 豎穴住居跡18号中央土坑 ⑤ 豎穴住居跡18号完掘状況



① 竖穴住居跡19号 ② 同19号完掘状況



①



②



③

①竖穴住居跡21号 ②同21号遺物出土状況 ③同21号完掘状況



① 竖穴住居跡22号検出状況 ②・③ 同22号遺物出土状況



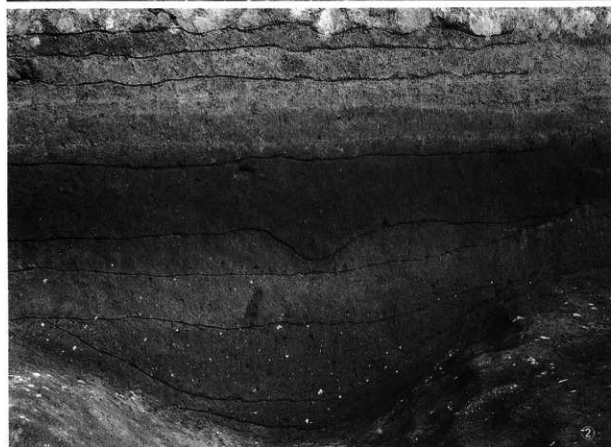
① 竪穴住居跡22号遺物出土状況 ② 同22号遺物出土状況（土坑内） ③ 同22号完掘状況



① 竖穴住居跡23号検出状況 ② 同23号遺物出土状況 ③ 同23号完掘状況



溝状遺構 1号



①沟状遗构 2号 ②同 2号断面



①溝状遺構 3号 ②溝状遺構検出風景



溝状遺構 4号



①・②溝状遺構4号遺物出土状況 ③同4号鉄製鈴出土状況



①・②・③溝状遺構4号遺物出土状況



①・②古道検出状況



268



276



274



275



328

竖穴住居跡1・2号出土土器



2号住居



286



296



291



289



290

竖穴住居跡 2・4・5・8号出土土器



297



307



308



326

豎穴住居跡 8・9・11号出土土器



316



331



344



333



345



334

豎穴住居跡10・13・16号出土土器



竖穴住居跡18・19・21号出土土器



295



344



332



337

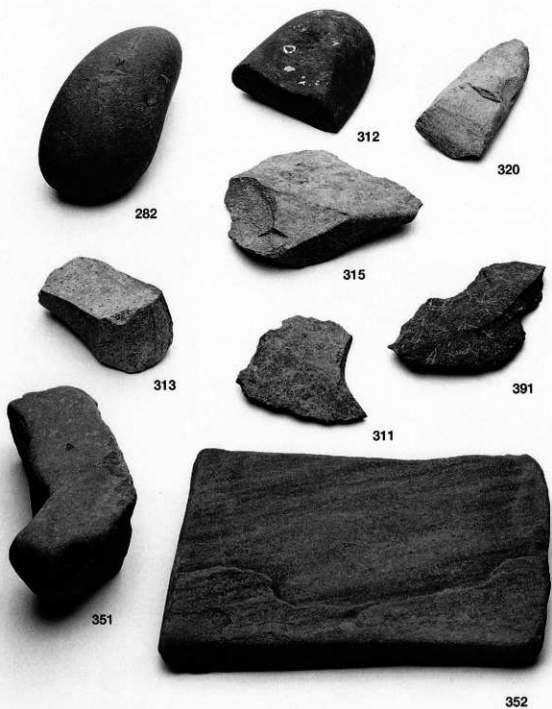


362



317

豎穴住居跡 出土遺物



整穴住居跡 出土石器



392



399



405



403



406



414

满铁道精1·2·3·4号出土土器



407



411



416



410

溝状遺構 4 号出土土器



452



437



439



432



428

清伙遺構4号出土土器



438



444



446



442



461

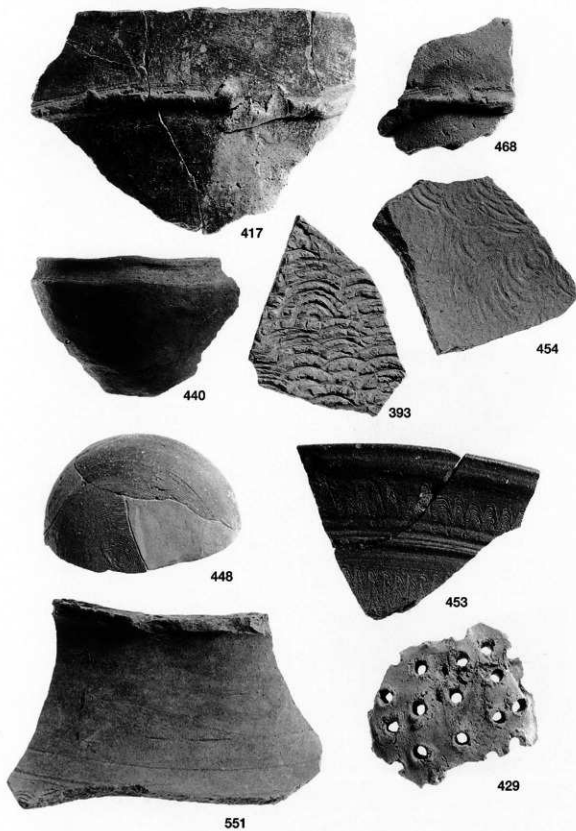


441



450

溝状遺構4号出土土器



溝状遺構 出土遺物ほか



464



498



544



537



525

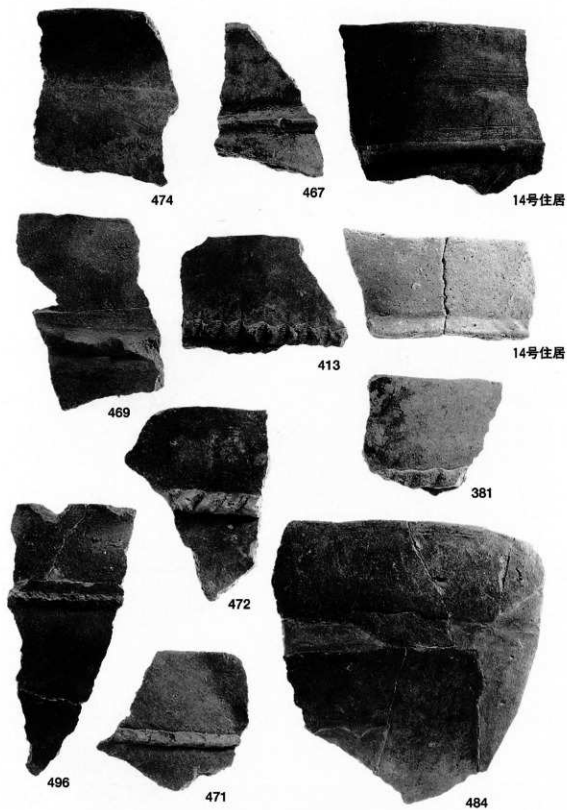


449

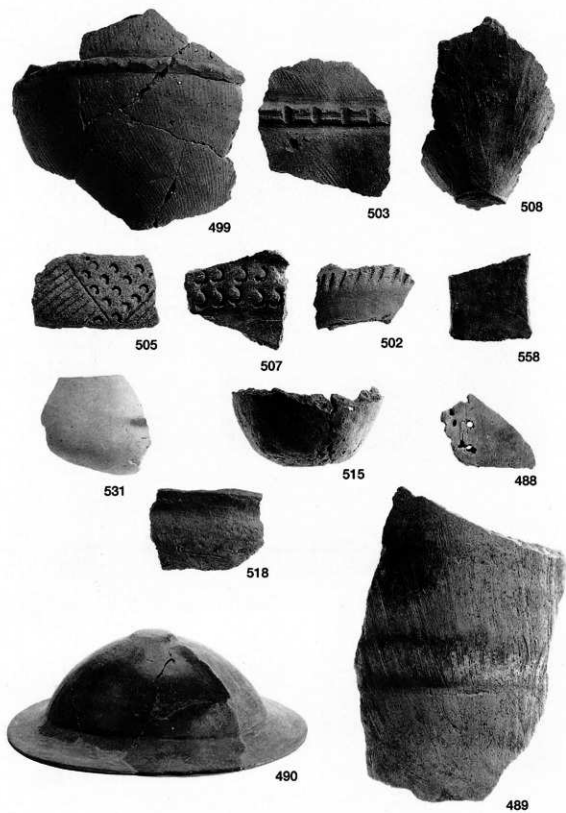


536

IV層出土遺物 1



IV層出土遺物 2



IV層出土遺物3ほか



463



322



394



554



459



323



461



462



537



285

鉄製品 ①鉄製鈴・②同X線写真 ③鉄鉄・刀子鉄鏝ほか

あとがき

2004年は、度重なる台風上陸や新潟中越地震など、近年例をみないほど自然災害に見舞われた年であった。言い尽くされた表現だが、「台風銀座」とよばれる南九州のみならず、全国各地で人的・物的に多大な被害もたらされた。

中尾遺跡の発掘調査時にも数回にわたって台風の襲来があり、台風対策や復旧作業におわれたことが当時の日誌に記されている。遺構や機材、図面などの維持管理に苦勞されたことと想像される。今回、発掘現場に赴いたことのない者が報告書の刊行にたどり着くことができたのも、当時の発掘担当者の方々のお蔭である。鉄製の鈴が数百年の時を経てもなお、その音色を失わずにいることが何よりの証ではないだろうか。

中尾遺跡は、古墳時代の集落跡であり、堅穴住居跡が22軒発見された。この時代に生きた人々は、自然災害に対してどのような想いを抱き、イエを守るために何らかの工夫を凝らしたのだろうか。

なお、本報告書作成にあたって、以下の方々からご指導・ご助言いただいた。記して感謝いたします。

池畑耕一・甲斐康大・川崎重治・川崎俊行・鶴田静彦・寺原徹・長野眞一・中村和美・中村耕治・中磨浩太郎・東 和幸・前迫亮一・宮田栄二・元田順子・山下博文
湯之前尚

整理作業員（平成15・16年度）

石原啓子・木村仁美・迫田かおり・末廣みゆき・古川陽子（五十音順・敬称略）

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（87）
—一般県道折生野・神野・吾平線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—

中 尾 遺 跡

2005年3月31日

発行者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4461 鹿児島県国分市上之段1175番地1
印刷所 ㈱朝日印刷
〒890-0055 鹿児島市上荒田町854-1

